

令和5年度 事業報告

1 シルバー人材センター事業の概況

I センター事業の概況

猛威を振るったコロナ禍も令和5年5月に感染症第5類に分類され、日常を取り戻しはじめました。景気も回復傾向となり、愛知県の最低賃金は1027円と千円超えになりました。

また、インボイス制度が令和5年10月に施行され、消費税負担の増額や諸経費の価格上昇を見込み令和5年度からの事務費率を2%アップし10%としました。

令和3年に改正された高年齢者雇用安定法により70歳までの継続雇用が拡大する等、高齢者の就業の状況も変わりシルバー人材センターを取り巻く状況も変化する中で、第2次中期計画（令和2年から令和6年）の4年目の事業執行となりました。

会員の状況は、令和5年度事業計画として、会員数をコロナ前の水準に戻すという暫定的な目標519人を掲げ、年度末実績524人と達成しました。会員の年齢構成は80歳以上が34.9%と高齢化が進む一方で、構成比が年々減りつつあった60歳台も14.1%と増加傾向となりました。

令和3年度より始めましたゴールド会員は38名、会員比7.3%となり、健康維持、居場所づくりに貢献し、会員減少の抑制につながりました。

就業の状況は、コロナ禍による影響は避けられないとし、現状維持を目標に掲げていたところではありますが、請負・委任等事業実績は、件数、契約金額は事務費率のアップ分を含めて100.02%と前年並みとなり、配分金ベースでは労務単価の上昇も含めて98.34%となりました。

労働者派遣事業実績は、受注件数は34件と減ったものの、就業実人員、就業延べ人員、契約金額とも約1割前年実績を上回りました。

独自事業実績も、コロナ前水準には至らないものの前年を約1割上回りました。

技能講座、教養講座も継続して開催し、会員以外の高齢者の就業意欲の向上やシルバー周知につとめました。

令和5年度は、実績があらわすよう変化のきっかけを掴んだ年となり、日進市高齢者生きがい活動センターの指定管理業務と並行し、センターの大きな目標である「高齢者が健康で、意欲と能力のある限り年齢にかかわらず働き続けることができる社会の実現」を推進することができました。

II シルバー人材センターの事業実施状況

1 会員の状況

令和5年度末の会員の状況は、男性371名、女性153名合計524名。平均年齢77.0歳、最高年齢男性92歳、女性91歳。

年齢階層比率は、

60代 14.1% 70代 51.0% 80代以上 34.9%

2 請負・委任等事業実績

受注件数は944件（公共事業14.8%、一般企業等17.9%、個人・家庭6.2%、独自事業1.1%）、会員就業延人員33,671人日、契約金額は150,867,510円（公共事業59.3%、一般企業等26.2%、個人・家庭11.8%。独自事業2.7%）、就業実人員418名で就業率は79.8%となりました。

3 労働者派遣事業実績

受注件数は34件（公共事業14.7%、一般企業等85.3%）派遣就業延人員は5,254人日、契約金額は34,616,368円（公共事業72.6%、一般企業等27.4%）、就業実人員77名で就業率は14.7%となりました。

4 指定管理事業

日進市高齢者生きがい活動センターの管理運営を通じて、高齢者の就業を促進させるため技能、教養などの講習会、就業機会の拡大のため就業希望者への入会説明会、未就業者相談会、就業者のスキルアップ講座を実施しました。また高齢者の生きがいと交流の拠点として有効利用を促進するためホームページの充実、広報誌の活用、デジタルサイネージュの活用など周知広報に努めました。

利用者実績

開館日数	244日
延べ利用日数	530日
延べ利用者人数	11,517人

講習会実績

技能講習会	22回開催	161人参加	(うち一般参加64人)
教養講座	7回開催	126人参加	(うち一般参加90人)
安全適正就業講座	8回開催	274人参加	(うち一般参加26人)
接遇講習会	1回開催	24人参加	

5 就業に関する相談等実績

就業希望者（入会説明会参加申し込み者）	98名
入会希望者（出席者）	81名
新規入会者	78名
退会者	53名
ゴールド会員（就業を目的としない会員）	38名
会員数	524名
就業案内者（全体）	124名
就業相談出席者（全体）	34名
相談会経由新規就業者（全体）	17名
新規入会者就業実人数	37名
全体実就業者（請負・委任）	418名
ボランティア就業参加実人数	125名

6 安全就業実績

安全就業につきましては、傷害事故が4件、物損事故4件、車両事故3件となりました。傷害事故で草取り作業1件、剪定作業1件、施設管理1件、帰宅途上1件、物損賠償事故は、カート2件、草刈り1件、剪定1件で、他センターで多い草刈りによる飛び石の事故は、カルマー採用や高い安全意識により、無事故を維持しています。車両事故につきましては、自損事故3件となっています。